

## 【第2回 アーカイブ】

日時：2019年7月16日（火）17:00~19:00

場所：東京藝術大学上野校舎 絵画棟 2F 演習室



デジタル化が進む今日の社会においては、電子メディアによるアーカイブの在り方が様々な局面で議論・模索されています。しかし、美術は一般に「モノ」を扱う分野でもあり、物理媒体と電子媒体の双方のアーカイブが常に課題になります。そして、自身の作品や展覧会といった創作活動のハイライトを写真や映像で適切に記録・保管・整理し、これを活用することは、アーティストのプレゼンテーションにおいて最も重要な要素であることに他なりません。また一方で、アーティストにとっての創作とは、単にスタジオの中での作品制作や展覧会の開催だけを指すわけではなく、そのワークフローは日常生活の中で既に始まっています。何気なく撮影したスナップや、思いついたことを書き留めたメモ、気になったウェブサイトの記事のスクリーンショットなど、普段の生活の中で紡がれた細やかな情報の集積が作品制作に関わってくると言えます。さらに、制作プロセスにおける種々のアーカイブは、ときに作品の成立そのものに大きく関与し、それ自体が作品を形成することさえあるのです。ここでは、単にプレゼンテーションという観点だけにとどまらず、美術とアーカイブの関係について多角的に考察することを目指します。

### 【講座の年間プログラム予定】

- ① ポートフォリオ (6月)
- ② アーカイブ (7月)
- ③ プロポーザル1 (10月「非常勤レクチャーC」)
- ④ プロポーザル2 (10月「非常勤レクチャーC」)
- ⑤ プロポーザル3 (10月「非常勤レクチャーC」)
- ⑥ プロポーザル4 (10月「非常勤レクチャーC」)
- ⑦ ステートメント (11月)
- ⑧ トーク (11月)
- ⑨ インターネットとソーシャルメディア (12月)
- ⑩ 英語 (1月)